

意 見 書

東由利地域協議会

事 項	「さくらいっぱいのもちづくり」並びに平成20年度版さくらマップ作成に向けた「平成19年度版さくらマップ」に対する改善・要望・意見等について
-----	---

意 見 内 容
1. 桜の維持管理について さくらマップに桜の名所を掲載し、観光客を呼び込むための施策を行っていくのであれば、掲載された桜には、市の観光資源として適切な手入れを継続的にしていく必要がある。しかし、桜の手入れにはそれなりのお金がかかることも予想されることから、自治会等が管理しているものに対しては、管理者側の理解と協力が得られるよう協議を進めるとともに、市からの財政的な援助も必要だと考える。市の財政状況が大変厳しい状況にあることは十分承知しているが、ある程度の予算措置を検討していただきたい。 また、桜の維持管理には技術が必要で、誰にでもできるというものではなく、樹木医などの人的要素も必要不可欠。資格を持った人材の発掘や、維持管理に関わるボランティア活動の基盤づくりなどに取り組んでいただきたい。 (企画調整部の回答) 「さくら満開のもちづくり」は、市域全体をキャンバスと見立て、今後を見据えた「さくら」の植樹や観光地整備のためのランドデザインを構築しようとするものであります。 そのためのバックデータとして、各地域の「さくら」の現状を写真撮影し、「平成19年度版さくらマップ（試作版）」を作成したところであり、このマップに関して「さくら満開のもちづくり企画委員会」と「各地域協議会」からいただいておりますご意見を反映させ「平成20年度版さくらマップ（完成版）」を作成し、具体的なランドデザインの協議・構築を実施する予定であります。 このランドデザイン具現化のためには、維持管理や新規植樹の技術や体制が重要になりますので、この点につきましても「さくら満開のもちづくり企画委員会」において協議して参ります。

2. 「さくらマップ」の内容について

これだけたくさん桜の名所を挙げれば、当然桜の規模等に大きな開きが生じるが、見に行ってみて期待外れだったということがないようにしなければならない。そのためには、マップ自体にもまだまだ検討や見直しが必要。それぞれの桜の樹齢や規模、開花時期等できるだけ詳しい情報を掲載してほしい。

(企画調整部の回答)

このたび作成した「平成 19 年度版さくらマップ（試作版）」につきましては、「さくら満開のまちづくり企画委員会」と「各地域協議会」からも、同様にご意見をいただいておりますので、「平成 20 年度版さくらマップ（完成版）」の作成に当たっては、ご指摘の情報も可能な限り掲載する予定であります。